



平成23年7月21日

日中韓・3大学相互海外研修

岡山大学経済学部は本年度より「短期海外研修3カ国相互交流プログラム」を実施します。中国・北京の中央財経大学経済学院（経済学部）および韓国・春川の江原大学校経営大学（経営学部）との学部間交流協定の枠組みの中で、学生の相互受入れ・派遣を行います。「隣人を知ろう」の標語のもと、内向き思考が強くなったと言われる日本人学生に、まずは海外に触れてもらおうという主旨で企画しました。本プログラムのユニークな点は、日中韓「3カ国間」の学生交流を進めるというものです。

- ・ 国際的に活躍できる人材育成の第一歩として、日中韓の学生に隣国について学ぶインセンティブを与えることを目的としています。
- ・ 双方向のみならず日中韓の3学部がプログラムを実施します。
- ・ 協定校：中国・北京の中央財経大学経済学院（経済学部）および韓国・春川の江原大学校経営大学（経営学部）
- ・ 派遣対象：岡山大学経済学部2年生以上
- ・ 派遣人数：中国と韓国へそれぞれ10名（計20名）を派遣し、中・韓からそれぞれ10名（計20名）を受入れます。
- ・ 費用：渡航費用、現地の食事等は学生の自己負担し、講義等の費用は各大学が負担します。ただし、経済学部のSS/SVプログラムに対する文科省の支援が決定しました。全員分です。
- ・ 日程：2011年8月20日～27日の1週間に岡山大学経済学部学生を中国、韓国へ派遣。同時期に中国からの学生を受入れます。韓国からの学生は2012年1月に受入れます。
- ・ プログラム内容：派遣先国の経済・社会・文化に関する講義、社会見学（会社訪問、文化体験等）、学生交流などです。
- ・ 本プログラムに参加した学生には、レポート作成、報告会での発表により科目単位が与えられます。

<お問い合わせ>

岡山大学経済学部・清水耕一

（電話番号）086-251-7369（庶務グループ）

（FAX番号）086-251-7350